

泉佐野市 報道提供資料

タイトル	<p>佐野工科高・18歳選挙ワークショップ “イヌナキン”が間一髪、ピンチを救う!! ～泉佐野市選挙管理委員会と佐野工科高校がコラボ開催しました～</p>
と き	平成29年6月5日（月）午後7時40分～9時15分
と ころ	大阪府立佐野工科高等学校
内 容	<p>選挙権年齢が18歳以上に引き下がったことに鑑み、18名の生徒を選挙従事者に見立て、6月5日（月）に大阪府立佐野工科高等学校において、泉佐野市選挙管理委員会（委員長：佐藤憲成）と佐野工科高校（准校長：山田啓次）が連携し、実際の選挙さながら“18歳選挙”のワークショップが定時制課程の2年生・3年生の生徒と教員総勢80名の参加のもと開催されました。</p> <p>ワークショップでは、候補者に見立てた教員による立会演説会や模擬投票、投・開票事務などが行われ、普段のモノづくり授業の雰囲気と違い、独特の緊張感が漂っていました。</p> <p>またサプライズとして、市選管の投票箱との到着が遅れそうになるのを“イヌナキン（市・公式キャラクター）”が、持ち前の一生犬鳴（イッシュウケンメイ）さで、投票箱と市上下水道局からの“イヌナキン水”を届けるなど、間一髪ピンチを救い、定刻どおりに無事に投票が開始できるというシーンもありました。選管職員も大阪タオル工業組合から寄贈を受けた泉州タオルのねじりはちまきと法被姿で盛り上げ、選挙は正に市民と行政で明るく公正に取り組むことが大切であることを生徒たちに強くアピールができました。</p> <p>生徒からは「イヌナキンが応援に来てくれて選挙にも泉佐野にも興味が持てた。」「本物の投票箱や計数機を使って緊張もしたが、案外簡単だし、不在者投票や期日前投票があることも分かってよかった。」「自分の意見で世界が変わるかもしれないことと、投票の秘密が守られることが分かり、18歳になったら親や友達と投票に行こうと思う。」との声があり、また、藤元進路指導部長からは「大半の生徒が昼間に働いていて実社会で即、役に立つ体験ができ、生徒・教員ともにいい機会になったと思う。来年もぜひ実施したい。」と話されました。</p>
問合先	<p>泉佐野市選挙管理委員会事務局 担当者 射手矢 ・ 南 （TEL:072-463-1212 内線 2351）</p>